北海道 足寄町 1.29 議会

次期町長選を展望する

「あなたはつぎの町長選挙に立候補しますか」ときいてみてもハツキリとした態度を示す人はいませんがしかし本別町は明年五月が改選で、足寄、陸別の両町はともに任期の折り返し点に近づいており、それぞれお互いに気になるうわさの顔ぶれがとり沙汰されていますが—。

本別 の場合は現職の水元孝夫氏は『首長というのは三期が限度であるべきだ』と職員にも語っているように、この持論からすれば明年の五月で三期を完うすることになるので、惜しまれながらキレイに勇退とみられています。

水元氏はしかし、いつも自分から町長選に意欲を示すのではなく周囲の支持者からかつぎ出されて登場しているので、サテ引退となれば自由勝手が許されるかどうかで、年令的にも健康上も決定的に勇退の理由にはならないという向もありその反面、その余裕、余力を残しての後継者づくりこそが大切となれば、水元路線を引きつぐのは町議会議長の方川新一氏か、助役の藤田高志氏にしぼられることになりそうです。

これに対して、かつて自民党支部長（岡崎克雄氏）を当選させたことのある保守勢力の強い町としては、前回も水元氏に対抗して「町を育てる会」が組織されて現町議の井出利一郎氏を立起させることを決定したものの、水元氏の三選で打ち止めの心境をきいて町の平和、円満のために断念したいきさつもあり、このグループの動きがどう対処するのかということです。

それに、前回の道議選にほぼ全町的な規模で推されながら、直前の一時的な声帯の病気で出馬をとりやめた前議長の長谷川義信氏の去就も注目されます。

足寄 の小林弘道町長も三期目ですが、田本帯広市長をふくめて管内の昭和生れの市町村長の集りである昭和会の会長で、年令的には次期の四選はもちろん五選も六選も丈夫で長もちする立場にあります。

一般町民のうけはよく、選挙となれば保守・革新の双方から支持を得〈町民党的に選挙には強いが、町議会の反対勢力の追及が手厳しくて、議会をひらけばお叱りをうける場面が多く、職員のミスで責任を問われて自らの減俸処分を二度もせざるを得なかつたものです。

そこへもつてきて、小坂山の開発をはじめ大型の県案事業をかかえている町として、石油ショックいらいの経済情勢のためとはいえ小林氏の政治力を云々する反対勢力の側としては、二年後に対抗馬を立てるとすれば元町長の子息で現町議の高橋佳夫氏ではないかとみられています。

陸別 では町長選の一騎討ちは戦後の初回だけで、あとは無競争・独走が三回つづいて、四名もの乱立という極端な場面があつたが杉田稔現町長からはまた無競争の二選目で、つぎの三選も独走の見通しです。

杉田林業の二代目社長で町内的には役職ももたず目立たない存在で、町政には全く[illegible]の杉田氏でしたが、それだけに白紙で素直な町長に対して町議会に町長派も反町長派もなく、もともと政争、対立を好まない陸別の風土、伝統からともいえます。

足寄の小林町長よりまだ若い法学士町長がまじめに一生県命やっているのに、これを引きずりおろそうということにはならないようです。

とかち新聞

主筆　松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1カ月300円　1カ年前納3,000円

ニュースを斬る

★…ことしは経済の年だといつて、自民党切つての経済通といわれる福田総理による新年度予算案は、税金控除の面をとつてみても汗してはたらく勤労者、農民、中小企業者の四人家族で二百万円なのに対して、のんびりと利子や配当で暮らせる裕福な人は四百万円までで、本当はその逆でなければならないしせめて一歩さがつて公平でなければならない筈。

★…国の財政は苦しいといつて福祉や減税は押えておきながら、大企業、大資本に対する手厚い税制や融資はいつもながらのことですが、保革伯仲となつた国会においてこれがどれだけ軌道修正されるのかということ。

国会はこれだけ

★…資本主義政党はもともと大資本の利益をはかるのが目的ですが、政権を維持するためにははたらく大衆の支持も得なければならないので、大資本の利益を害しない範囲内で大衆のための政治もはからねばならないものの、あららを立てればこちらは立たずで、うまくはいかないもの。

★…三十一日から再開の国会では、大衆の側の政党がふえたのでどれだけの成果をあげるのかで、与野党逆転の委員会もできたのでかなりの論議で慎重審議の機会は得られるとしても、わずかの差で大資本の側の政党が上まわつているので最後は本会議での多数決原理がものをいうことになりそうで、なにしろ大衆の側が自分たちの代表を国会へおくり出す努力がまだまだ足りないために—●

釧鉄局から最後通告

合理化で足寄町へ

さけられるか「見切り発車」

池北三町、五駅の営業近代化の名の人員合理化計画に対して、最後まで絶対反対をつづけていた「住民の足を守る足寄町民会議」では、暮の十日に三役会議でこれ以上反対をつづけるのは困難であるとして、条件を提示して当局と交渉に入つて事態を収拾することになり、これが暮の町議会に報告されて議会の特別委員会も解散となり、当局との交渉によつて解決に向うものとみられていましたが、上利別地区だけが三役会議の決定に不満だとして条件交渉に応じないので、町として新年早々にも釧路鉄道管理局との話し合いに入る目算が狂つてしまつたわけです。

釧鉄局からは暮いらい町当局に対して矢の催促でしたが、しびれを切らしてかこのほど局長名で足寄町長に文書で「一月二十五日までに条件の提示がなければ当方の判断で処理する」との最後通告があり、このままでは〃見切り発車〃で合理化を実施せざるを得ないという強い意志表示となつたものです。

それというのも、釧鉄局としては、陸別町の小利別駅については一昨年に急行列車一往復を停車させることを条件にして合理化を承諾させておきながら、未だに実行できず陸別町から約束の履行を迫られており、本別町の仙美里駅も昨年すでに話し合いがついて協定書もできあがり、足寄町が決まれば調印するばかりとなつており、その足寄町も大誉地駅は合理化を承諾、愛冠駅も現状維持で諒承したのに、上利別駅だけのためにいつまでも実施を延ばすわけにはいかないようで特に仙美里や大誉地は五名の駅員を全廃するのに対して上利別の場合は列車入換えの関係から駅長と助役は残すことになるので、話し合いがつかなくても実施にふみ切ることにしたものです。

しかし足寄町としては、上利別一地区だけのために〃見切り発車〃の事態はさけようと、ギリギリ上利別地区の協力を求めて、これまで積みあげてきた各駅の取扱い条件を確約する協定書を釧鉄局ととりかわして実施するようにしようとしています。

釧鉄局では三月一日からの実施を予定しており、そのためにはいまから合理化にともなう人員の配転換や各駅の施設整備にとりかからなければならないので、どちらにしてもさし迫った事情にあるようです。

進展しない中学校の統合

中斗満の反対で

陸別町の中学校統合問題は当面、町政上の最大課題としてそのなりゆきが注目されていますが、難関となつている中斗満地区の態度が依然として変らないので進展しないのが現状です。

本年四月新学期からの町内各中学校の生徒数は

▲陸別中学校
一年　百八名　二年　九十六名
三年　九十四名

▲小利別中学校
一年　八名　二年　七名
三年　二名

▲上斗満中学校
一年　一名　二年　六名
三年　三名

▲中斗満中学校
一年　六名　二年　四名
三年　六名

と見込まれていますが、一学級あたり四十五名なので陸別中学校だけでも各学年とも三学級の編成で、四校全部を統合しても一学年百二十三名、二学年百十三名、三学年百五名にしかならないので、同じように三学級づつの編成なので、国や道としては積極的に統合奨励策はとらずに、地域のもりあがりを待つて自然に吸収合併の方向をとりたいところで、一部の反対のある場合は通学拒否などの不測の事態をおそれるお役人気質からも、この統合はあまり歓迎されないようです。

特に遠い小利別や上斗満が諒承しているのに、近くの中斗満だけが反対という異常な状態は、それに拍車をかけている形ですが、中斗満地区の六部落、四十五戸のうち中学生がいるのは十数戸で、児童、生徒がいようがいまいが地域の全戸でPTAを構成しているようなもので、子供をもつ父兄の意志とは別に地域の決定で統合反対の線を打ち出しているかのように、共産党支部長の谷郁司氏のところだけはスクールバスで陸別中学校へ通学させており中学生をもつ家庭では本当は充実した教育をうけられる陸別中学校へ通学させたいのだが、地域の大勢に押されて遠慮しているとみる向もあります。

生徒数がわずか十数名に落ちこんでも学校を守り抜こうという地域の熱意は理解できるとしても、町にとつては全く有難迷惑なはなしで、中斗満地区では陸別中学校が老朽化したのなら危険校舎の補助をうけて改策すればよいので、こちらのせいにしてもらつては困るということのようですが危険校舎となればその建物のうちの耐久度が四千五百点以下に老朽化した部分だけの補助となるので町費の持ち出しが大きく、このために他の産業、福祉などの面にシワヨセがいつて犠牲になるおそれがあるのに対して、統合校舎の場合は校舎、体育館などの全部に三分の二の補助が認められるので大変な違いであり、町としても教育委員会としても中斗満地区住民の理解と協力を求めて早期着工をめざしているものの、新年に入つて同地区との話し合いもおこなわれていません。

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
㊂自動車
足寄町西三区　T 五—二六二六
新津はなや

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
足寄町大通り山口整骨院前　T五—二四二八
小林畳店
小林幸三郎

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野興復
足寄町駅通り　T　五—二五一二

大自然のなかの人工美
—いで湯のふるさと—
観光と保養の
♨芽登温泉
足寄町芽登　T　二八五五

赤外線焼付塗装ブース導入！
エナメル焼付塗装　オールUSA塗料使用
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
足寄町　T五—二五七八　三七一九

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　T五—二二二二番

西独スチールチエンソー
超ミニスター(新機種)
防震チエンソー定価七三、〇〇〇特売中
各種チエンソー・刈払機
日立　マキタ　東和　電動工具
造林用具
林業機械
鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T　五—二三〇七
本別営業所　T　二—四九二三